

檀信徒会館前にかわいらしい
お地藏様をお迎えしました。



ようこそ
ようこそ

z u i r i n

瑞林

長善寺だより

一・二月号

z u i r i n

令和5年1月5日発行

発行者 瑞林山 長善寺

〒448-0006 刈谷市西境町前山244番地

TEL 0566-36-8386

卯

©DESIGNLIKE



二祖対面

法然上人は夢の中で善導大師と対面し、
浄土宗の開宗を決意する

慈しみの心をもって
お互いに向き合い、
佛様の眼をもって
お互いを看よう。

慈心相向
佛眼相看

年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

令和五年、卯年の新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸を祈念し、合掌申しあげます。

新しい年を迎え、明るい話題でご挨拶をしたいのですが、なかなかそうはいかない今日です。

新型コロナウイルスが世界に蔓延して、4年目に突入します。この間に人類は短期的なウイルスの撲滅が不可能と判断し、ゼロコロナからウィズコロナへと戦略の転換を余儀なくされています。社会の混乱はまだ続きそうです。そしてまた最近、感染の波が訪れる感があります。どうぞご自愛ください。

東欧では悲惨な戦争が続いています。何百万という人が住む家を追われ、日々、命の危険に晒され、寒さに凍え、恐怖に震えています。

戦争は何一つとして善いことを生み出しません。生み出すのは恨み・悲しみ、そしてこの世の地獄です。有史以来、幾度となく戦いをしてきた人間は、戦争がもたらす悲劇をわかっているはずなのに、また戦争を繰り返します。

人間の愚かさの象徴です。

一刻も早く戦争が終息し、人々に安穩が訪れることを願ってやみません。

年末から年始にかけて穏やかな気候が続きました。天候のように、本年が皆様にとって穏やかな年になりますようご祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしく願います。

ぐしゃ 愚者になりて往生す

法然上人

仏教でいう「愚かさ」とは、賢い」の対義的に使われる知識や教養の有無で語られる愚かさではありません。
「愚かさ」とは、欲望にとらわれて自分を見失ったり、自分にとって都合の悪いものを排除し、他人を傷つけ悲しませたりしてしまうことを表します。

「愚者になる」とは、自身の愚かさゆえに自分中心の見方や考え方でしが行動できないことをよく自覚するということです。

愚者の自覚があつてはじめて、一切衆生を救済する阿彌陀仏の救いに気づくことができるのです。

法然上人は浄土門の修行は、愚痴(ぐち)にかえりて極楽にうまるとするべし」と仰っています。

1月25日は法然上人のお命日です。

法然上人がお亡くなりになる二日前に書き残された「枚起請文」を拝読し、法然上人がお示しくくださったお念仏の教えに触れ、愚者に還ってお念仏を称えましよう。

来年、令和6年は浄土宗が開かれてから850年になります。

今年の春彼岸法要は 3月18日(土) 13:00~行います。

連載企画 法然上人の「法語」

一紙小消息（現代語訳） その1

乱れきったこの末法の時代、さらにはそれ以降の時代に生きる人々が、阿弥陀さまの極樂浄土に往生を遂げることができかどうか、という疑問について、おおよそ次の四点が考えられます。

一つには、称えるお念仏の数が少ないとしても往生を疑ってはいけません。阿弥陀さまの本願に照らせば、たとえわずか十遍あるいは一遍のお念仏であつたとしても十分なのです。

二つには、罪深い人間であるとしても往生を疑ってはいけません。お釈迦さまは「たとえどんなに罪深い者であろうとも、阿弥陀仏が見捨てると言うことは決してない」とおっしゃっているのです。

三つには、お釈迦さまの時代からどれほど時を経るとしても、往生を疑ってはいけません。末法の時代が過ぎ、ついには教えがすべて消え去った時代の衆生でも間違ひなく往生するのです。お念仏を称えれば往生が叶うと説かれていたのですから。ましてや今の時代に往生しないことなど決してあり得ません。

四つには、自分自身、煩悩を断ち切れぬ悪しき者だとしても疑ってはいけません。かの善導大師でさえ、「自分は煩惱にまみれた、何と愚かな人間であることか」と吐露されているほどです。

浄土宗総合研究所編訳 「法然上人の「法語」より



寒行托鉢実施中

毎朝 西境町内を托鉢させていただきます。
2月3日まで続きます。
いただきました浄財や米は災害被災者や福祉施設に寄付させていただきます。
よろしくお願ひします。



お寺で朝活「テンプルモーニング」

毎月一日の朝はお寺で心の掃除。
誰でも参加OK、途中参加・退席OK、参加費なし
どなたでもお気軽に参加ください。

開催日 毎月1日 朝7時から

お経 20分
お掃除 20分
お茶 20分

2月のテンプルモーニングは寒行中のためお休みします次回は3月1日7:00、

「掃除は心の垢を落とし、心の塵をはらう」

令和5年 年回表	
回忌	亡くなった年
1周忌	令和4年
3回忌	令和3年
7回忌	平成29年
13回忌	平成23年
17回忌	平成19年
23回忌	平成13年
27回忌	平成9年
33回忌	平成3年
37回忌	昭和62年
43回忌	昭和56年
47回忌	昭和52年
50回忌	昭和49年
100回忌	大正13年



ちょうぜん接骨院
刈谷市井ヶ谷町孫六72-2
0566-87-4699
ホームページ ↓



homepage



YouTube



長善寺ホームページ・facebook・LINEで新しいお知らせを
更新しています。どうぞご覧ください

住職の仏仏(ぶつぶつ)独り言

昨年を振り返ると、「有難い」という言葉を実感する一年でした。当り前の平凡な日々が実は「有ること」が難しい「もの」だったのだと身をもって気づかれました。それに気づいたからこそ「今有ることに感謝する」気持ちの底から湧き上がってくるのです。今は、毎晩、布団の中で一日の無事を感謝し、お念仏を称えて眠りについています。念々称名常感謝です。

檀信徒会館が完成してから一年と半年が過ぎ、会館を利用される方が増えました。本堂での年忌法要を行う数も、会館を造る前より倍近く増えています。このコラムを書いている1月3日も朝からたくさんのお参りがあります。今後もミニ講座や趣味の発表会・展示会などご提案できればと思っています。

毎月第3火曜日に子ども食堂を開催して一年が経ちました。おかげさまで毎回30食以上のカレーを提供しています。現在は感染予防のため、お弁当持ち帰りで対応していますが、本当は早くみんなで会食してみたいです。やはりご飯はみんなで食べる方が美味しいですね。

住職の弟夫婦である丹羽十堂・小百合夫妻が刈谷ハイウェイオアシスの近くで接骨院を開業することになりました。その名も「ちょうぜん接骨院」どうぞよろしく願います。 一堂

長善寺 年間行事予定

	日時
修正会(しゅしょうえ)	1月1日
寒行托鉢	1月6日～2月3日
総代・世話人会	1月8日
涅槃会(ねはんえ)	2月15日
永代祠堂供養 春彼岸会・御忌	3月18日
総代会	
花まつり	4月8日
団体参拝	未定
盆施餓鬼	8月10日
総代会	
棚経参り	8月12～15日
送り火	8月16日
地藏盆	8月24日
十夜会	11月
金毘羅祈禱祭	11月23日
成道会(じょうどうえ)	12月8日
除夜会(じょやえ)	12月31日

◎永代供養合同墓「みかえりの塔」 納骨壇」のご案内

お墓の継承者がいない方。
個人や夫婦二人だけの納骨場所を
お探しの方。

お寺に後の供養をお願いしたい方。
諸々の事情に対応する
永代供養合同墓と納骨壇です。
長善寺が永代に渡り供養させて
いただきます

○納骨壇

個人壇

25万円

家族壇

50万円

○永代供養墓

みかえりの塔

20万円



◎浄土宗発刊エディングノート 「縁の手帖」(えにしの手ちょう)

私たちがやがて迎える死(往生)を
浄土宗の教えに沿って分かりやすく
説明しています。

ご自身の人生の振り返りに

活用ください。

一冊 200円



浄土宗西山禪林寺派
瑞林山 長善寺
住職 丹羽一堂

〒448-0006 愛知県刈谷市西境町前山244番地
TEL:0566-36-8386 FAX:0566-70-9024
E-mail: tyozenji@gmail.com
HP: <https://www.tyozenji.com/>